



CAREECON
Platform

若年層の建設業界への就職意識調査
結果レポート

■ 若年層の建設業界への就職意識調査

BRANU株式会社は、高齢化の進む建設業界において次世代を担う若年層(18歳～39歳)を対象に、建設業界への就職意識に関する独自調査を実施しました。

調査目的：本調査は、建設業界に対する若年層のイメージと就職意識を把握することで、業界の魅力向上や人材確保に向けた取り組みの基礎資料を得ることを目的としています。

調査時期：2024年11月

調査方法：インターネット調査

調査主体：BRANU株式会社

調査機関：株式会社 クロス・マーケティング

調査対象：18～39歳の就職・転職希望者

有効回答：400人

※調査データを引用する際は、引用元の表記をお願いいたします。

■ CAREECON Platformについて

「CAREECON Platform」は、建設事業者向けマッチングサイト「CAREECON」とマーケティングから採用管理、施工管理、経営管理まで行える建設業向け統合型ビジネスツール「CAREECON Plus」からなる建設DXプラットフォームです。SMBに特化した機能開発と、導入から運用まで伴走し続けるDXコンサルティングサービスで、契約社数は5,000社を超えています。

URL： <https://careecon.jp> (CAREECON)

URL： <https://careecon-plus.com/> (CAREECON Plus)

■ 会社概要

BRANU株式会社(ブランニュー)は、建設DXプラットフォーム「CAREECON Platform (キャリアコン)」を通じて、建設業界のDXを加速させるサービスを提供しています。

社 名：BRANU株式会社

本社所在地：東京都港区六本木6-1-24ラピロス六本木4F

設 立：2009年8月18日

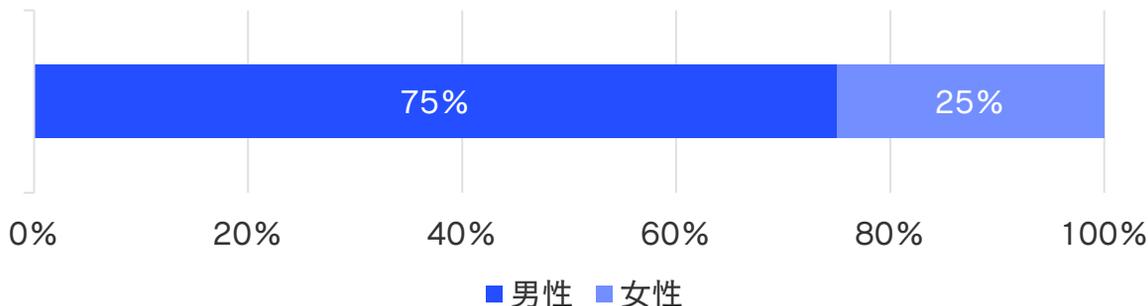
代 表 者：代表取締役社長 名富 達哉

事 業 内 容：建設業向けデジタルトランスフォーメーション事業

URL： <https://branu.jp> (コーポレートサイト)

問い合わせ： press@branu.jp

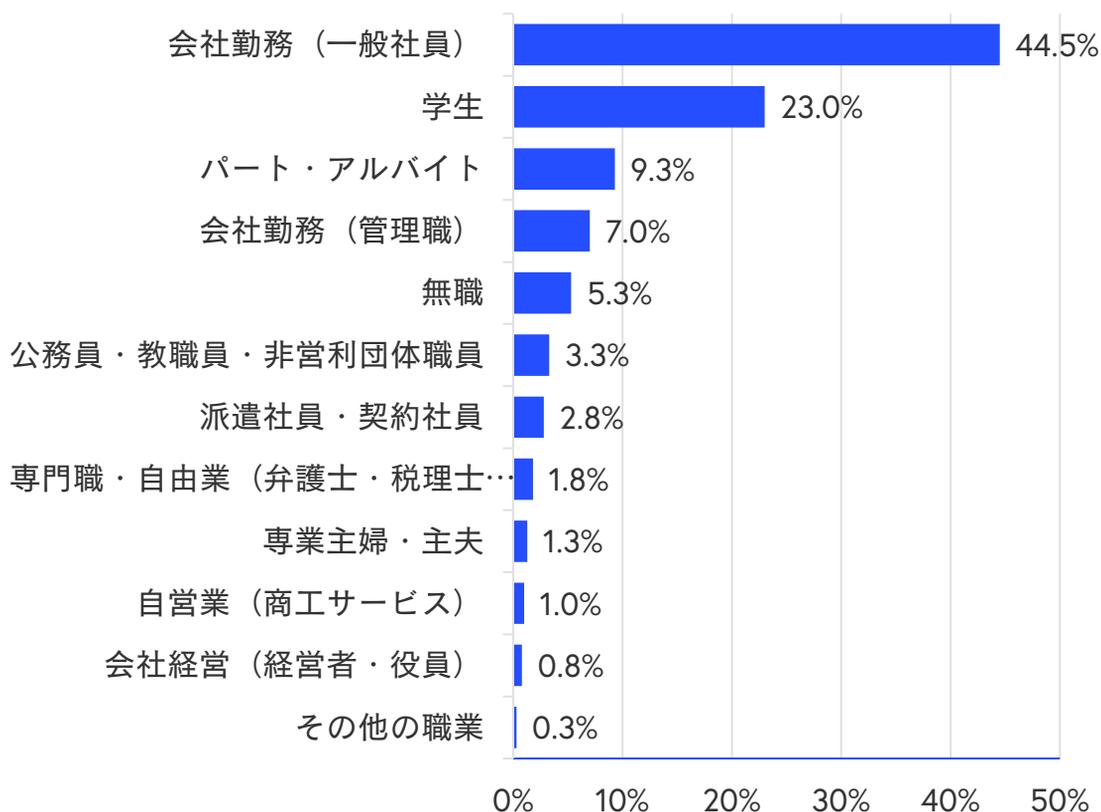
性別



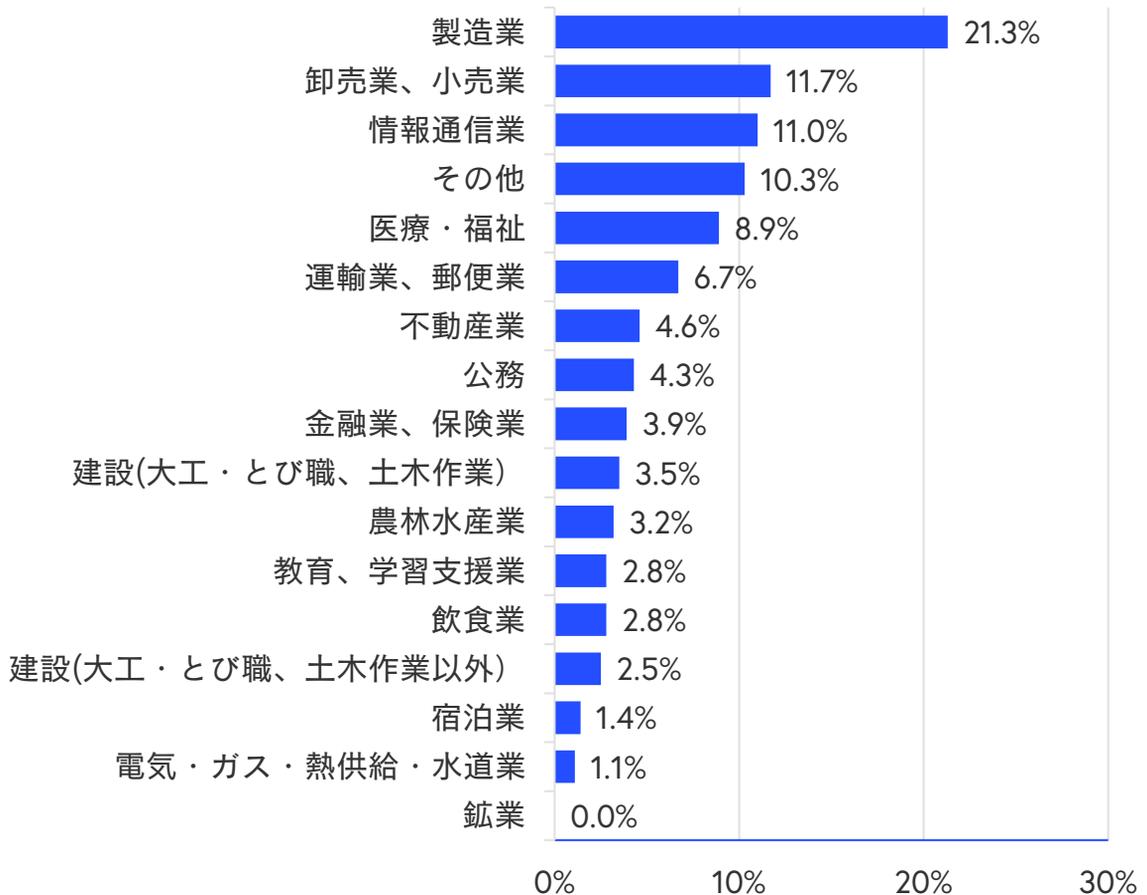
年齢

	回答数	%
全体	400	100.0
平均値		29.61
最小値		18.00
最大値		39.00

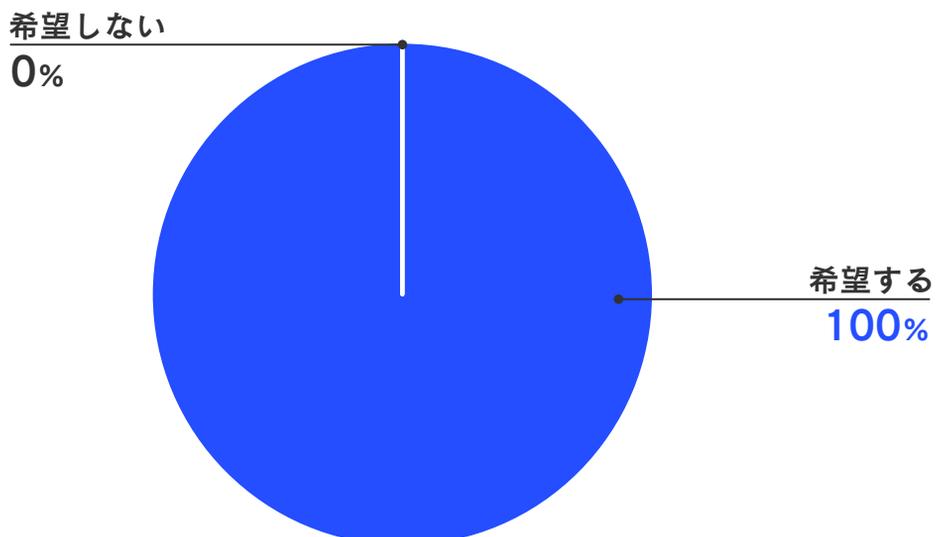
現在の職業



■ 現在の業種

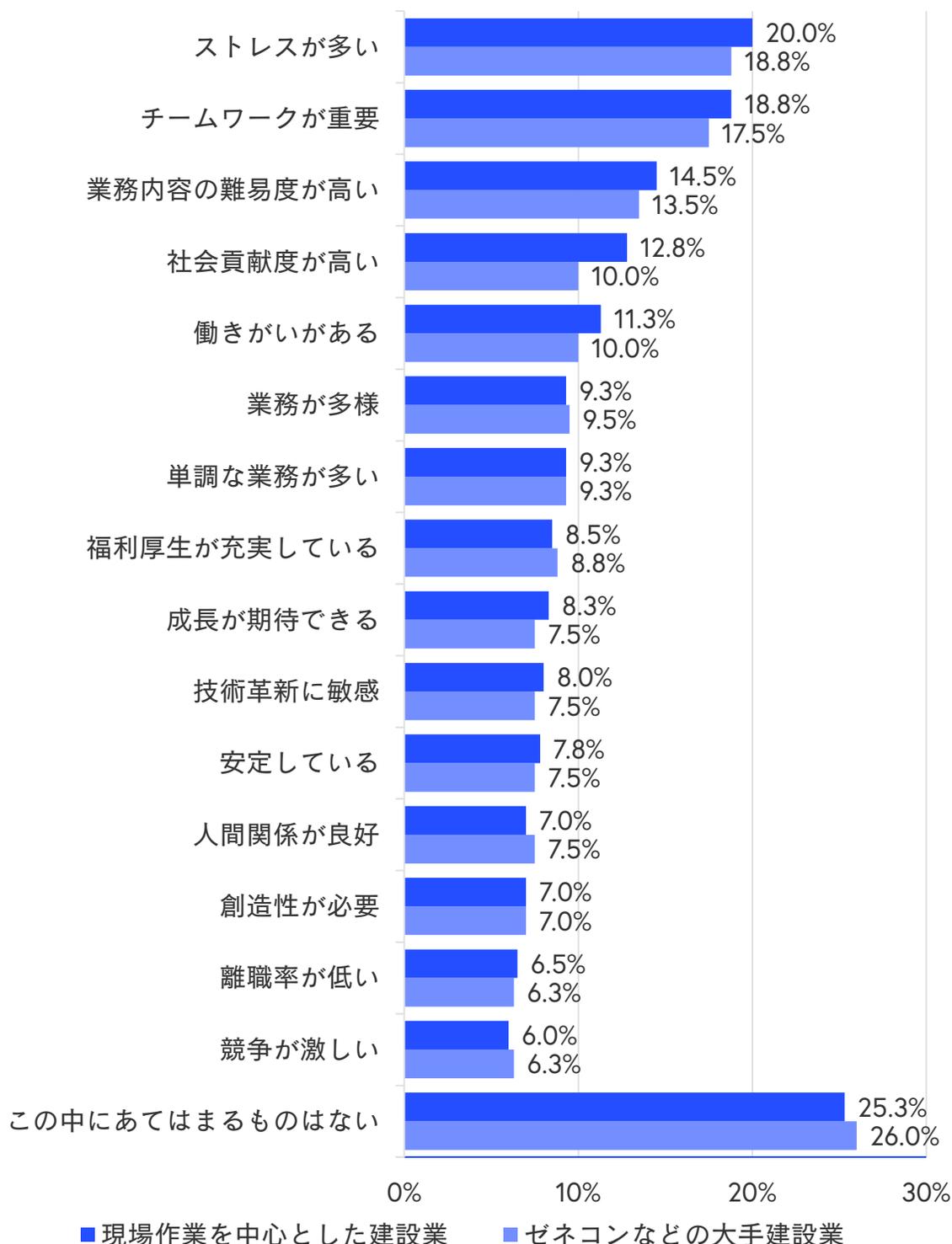


■ 転職・就職時に正社員雇用を希望するか



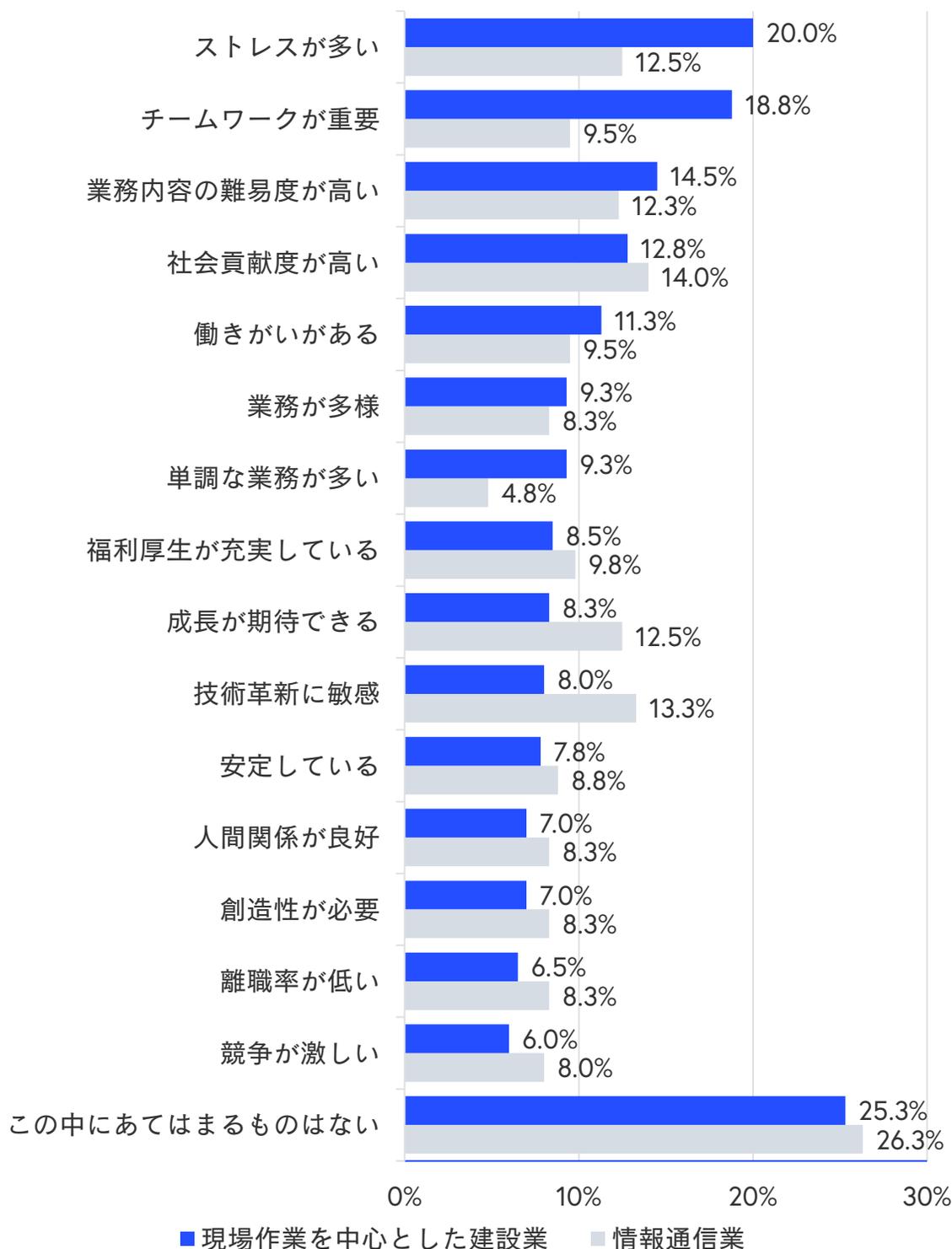
Q1 ● 建設業についてあなたがあてはまると思うイメージをすべてお知らせください。（複数回答）

■ 建設業（現場作業中心と大手建設会社）のイメージ

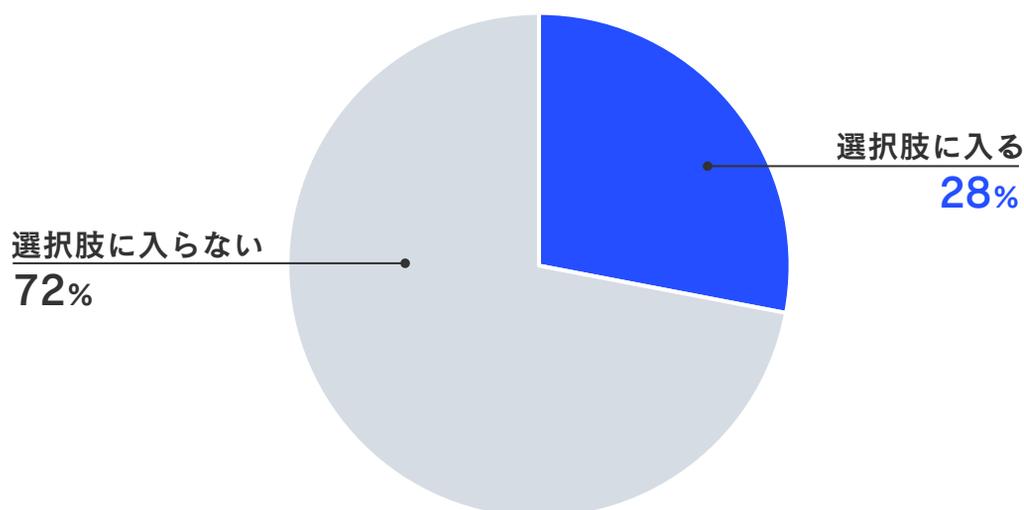


Q1 ● 建設業についてあなたがあてはまると思うイメージをすべてお知らせください。（複数回答）

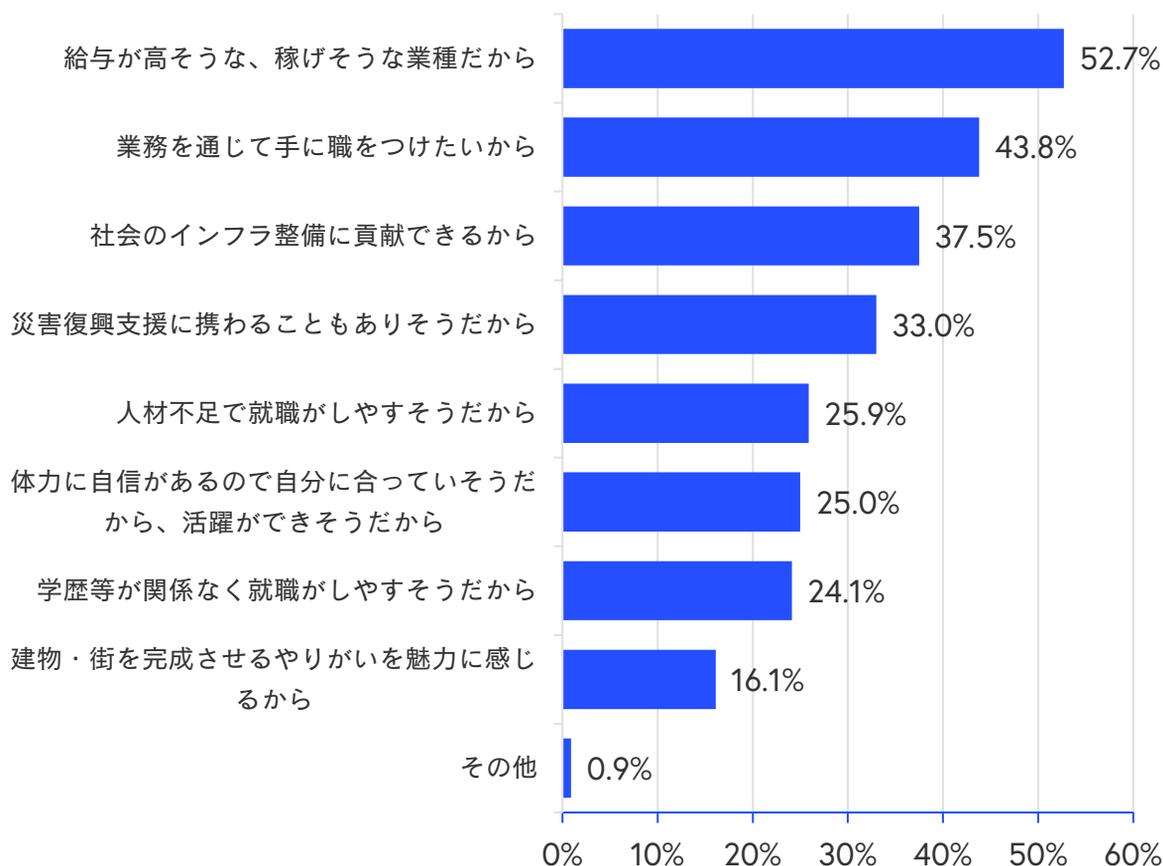
■ 現場作業と中心とした建設業と情報通信業との比較



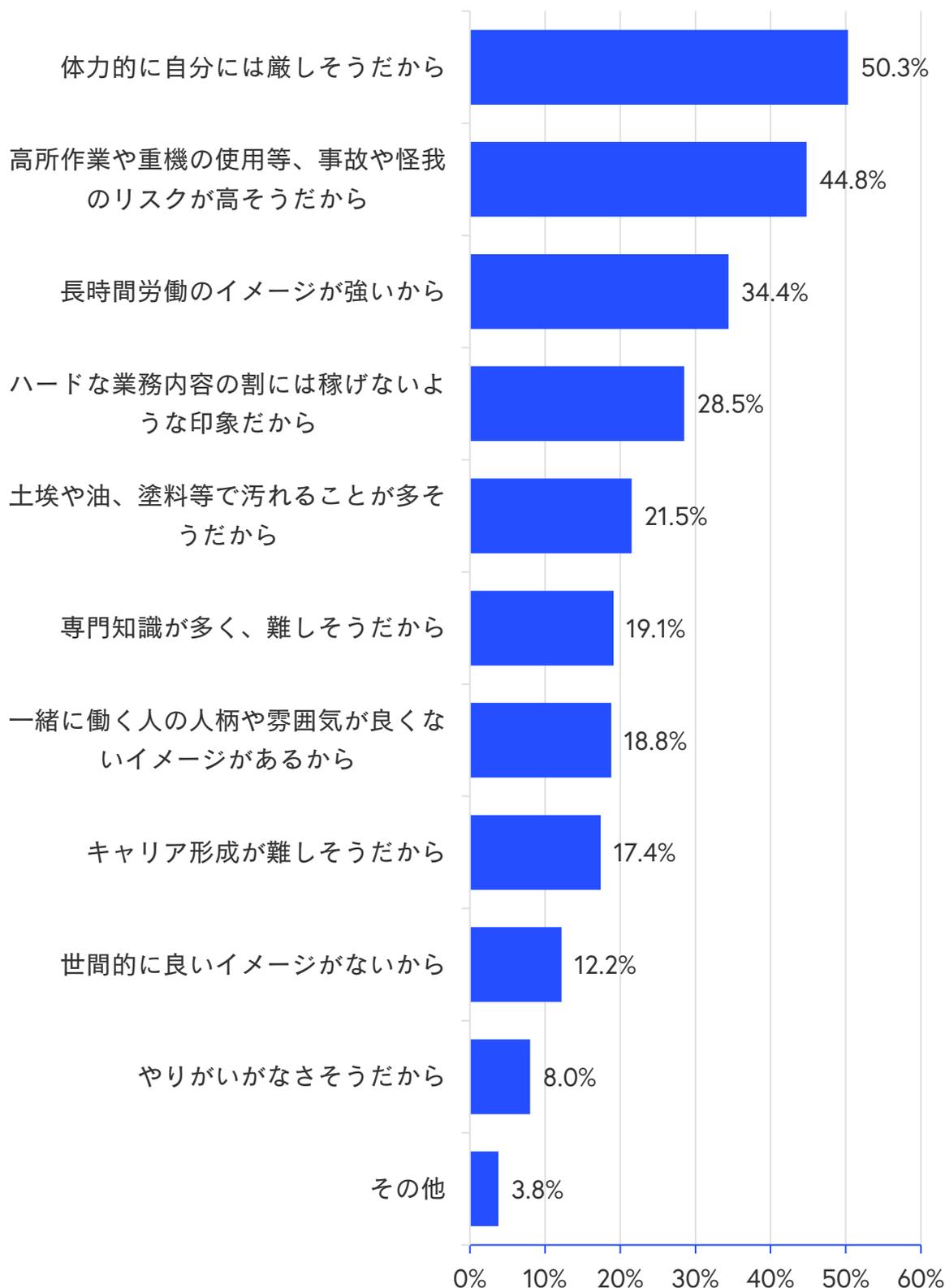
Q2 ● 現場作業を中心とした建設業は就職、転職先の選択肢に入りますか。（単一回答）



Q3 ● 選択肢に「入る」とお答えした方は、その理由についてあてはまるものをお答えください。（複数回答）



Q4 ● 選択肢に「入らない」とお答えした方は、その理由についてあてはまるものをお答えください。（複数回答）



Q5 ● 現場作業を中心とした建設業がどのような変化があれば ● この先、就職、転職先の選択肢として入りますか？

※自由回答をもとにアフターコーディングを実施。

■ カテゴリ別自由回答例

■ 労働条件に関する問題（35%）

○給料

- ・「給料が良ければ」「年収1000万以上のチャンス」「賃金がめちゃくちゃ高い」。

○福利厚生・労働環境

- ・「福利厚生がしっかりしている」「労災保険」「完全週休二日制」。

○安全性

- ・「怪我のリスクが少ない」「労働環境の安全性」。

■ 業界イメージの問題（20%）

○ネガティブなイメージ

- ・「怖い人が多い」「きつい」「きたない」など、業界全体の印象が悪い。

○改善の期待

- ・「業界全体のイメージを変えるべき」「若い人が増える」。

■ 体力・肉体労働の問題（15%）

○体力負担

- ・「体力が必要」「力仕事がない」「体力的に厳しい」。

○機械化への期待

- ・「ロボットの導入」「DXが進む」「肉体労働がほとんどなくなる」。

■ 女性が働きやすい環境（15%）

○性別に関連する課題

- ・「男性の職場のイメージ」「女性でも働ける内容の業務」。

○機械化への期待

- ・「ロボットの導入」「DXが進む」「肉体労働がほとんどなくなる」。

■ 業務内容に関する課題（10%）

○事務作業の増加

- ・「事務作業ならできる」「デスクワークの割合が高い」。

○働き方の柔軟性

- ・「フレックスが使える」「リモート作業」「拘束時間が少ない」。

■ 個人的な理由や無関心（5%）

○興味がない

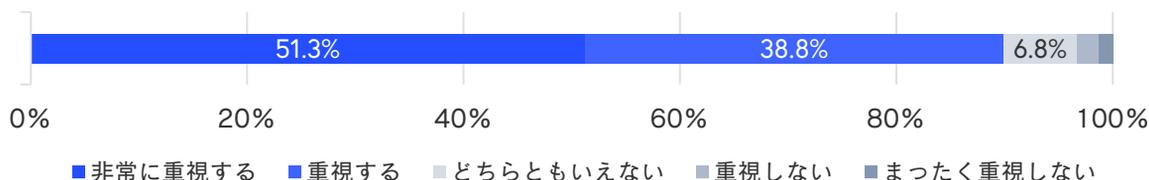
- ・「候補に入れない」「そもそも興味がない」「絶対に入らない」。

○個人の事情

- ・「喘息持ちなので完全禁煙が必須」。

Q6 ● 「働く上で重視したいこと」という観点でそれぞれあてはまるものをお知らせください。（単一回答）

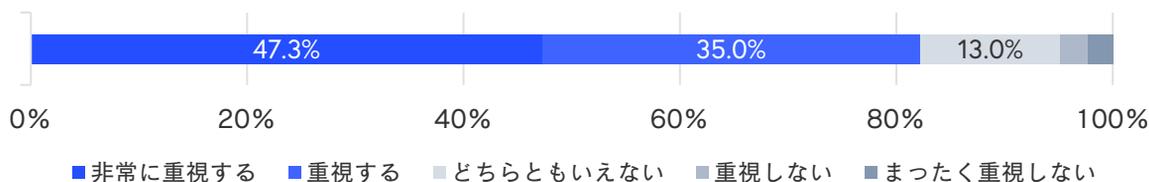
給与・報酬



福利厚生



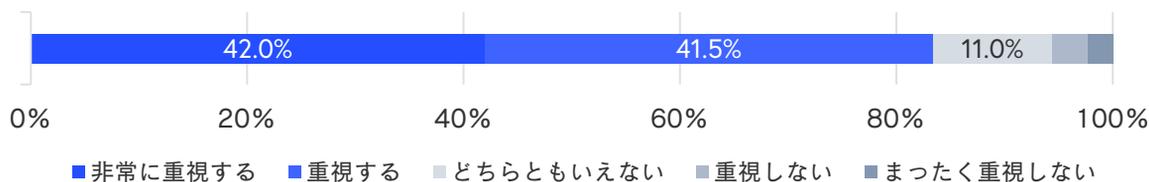
ワークライフバランス



仕事内容



職場環境



Q6 ● 「働く上で重視したいこと」という観点でそれぞれあてはまるものをお知らせください。（単一回答）

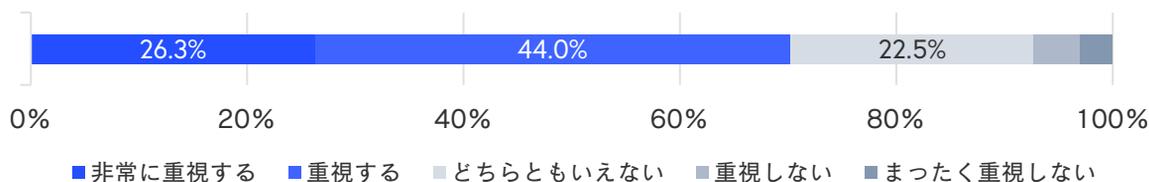
■ 会社のビジョン・ミッション



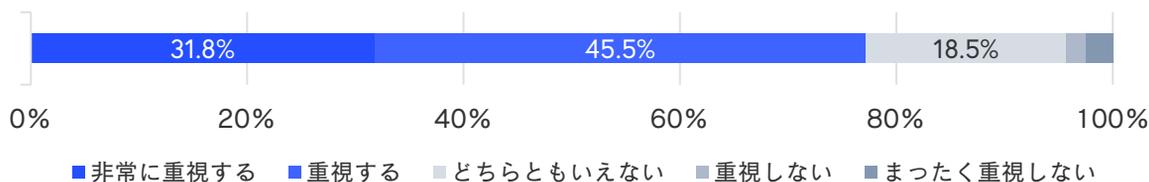
■ スキルアップの機会



■ 企業の評判



■ 企業の安定性



■ 企業の知名度



■ 自社顧客へのアンケート調査を実施

Q4に設定した「現場作業を中心とした建設業が転職・就職の選択肢に入らない理由」と同等の設問を用いて、BRANU株式会社の顧客である建設事業者を対象にアンケート調査を実施しました。本調査では、転職・就職希望者と建設事業者との間で認識の乖離が存在するかを明らかにすることを目的としています。

調査時期：2024年11月

調査方法：顧客アンケート調査

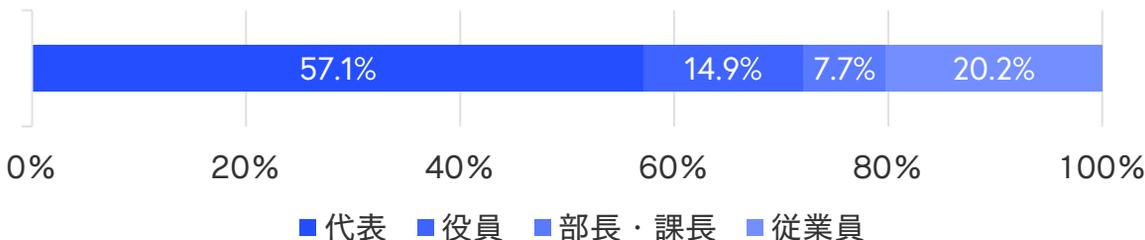
調査主体：BRANU株式会社

調査対象：現場作業を中心とした建設事業者（自社顧客）

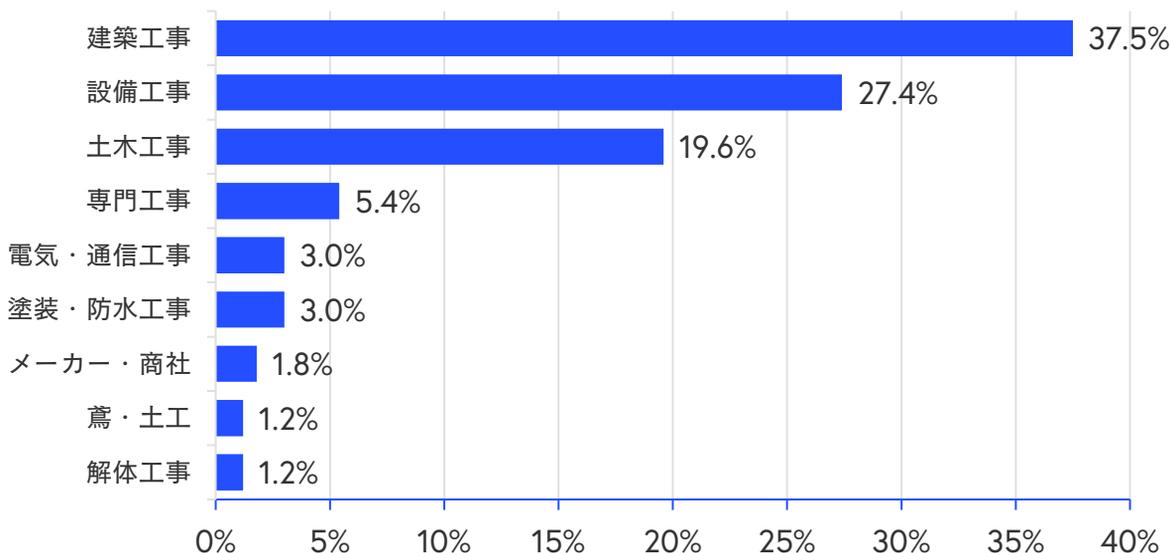
有効回答：168人

※調査データを引用する際は、引用元の表記をお願いいたします。

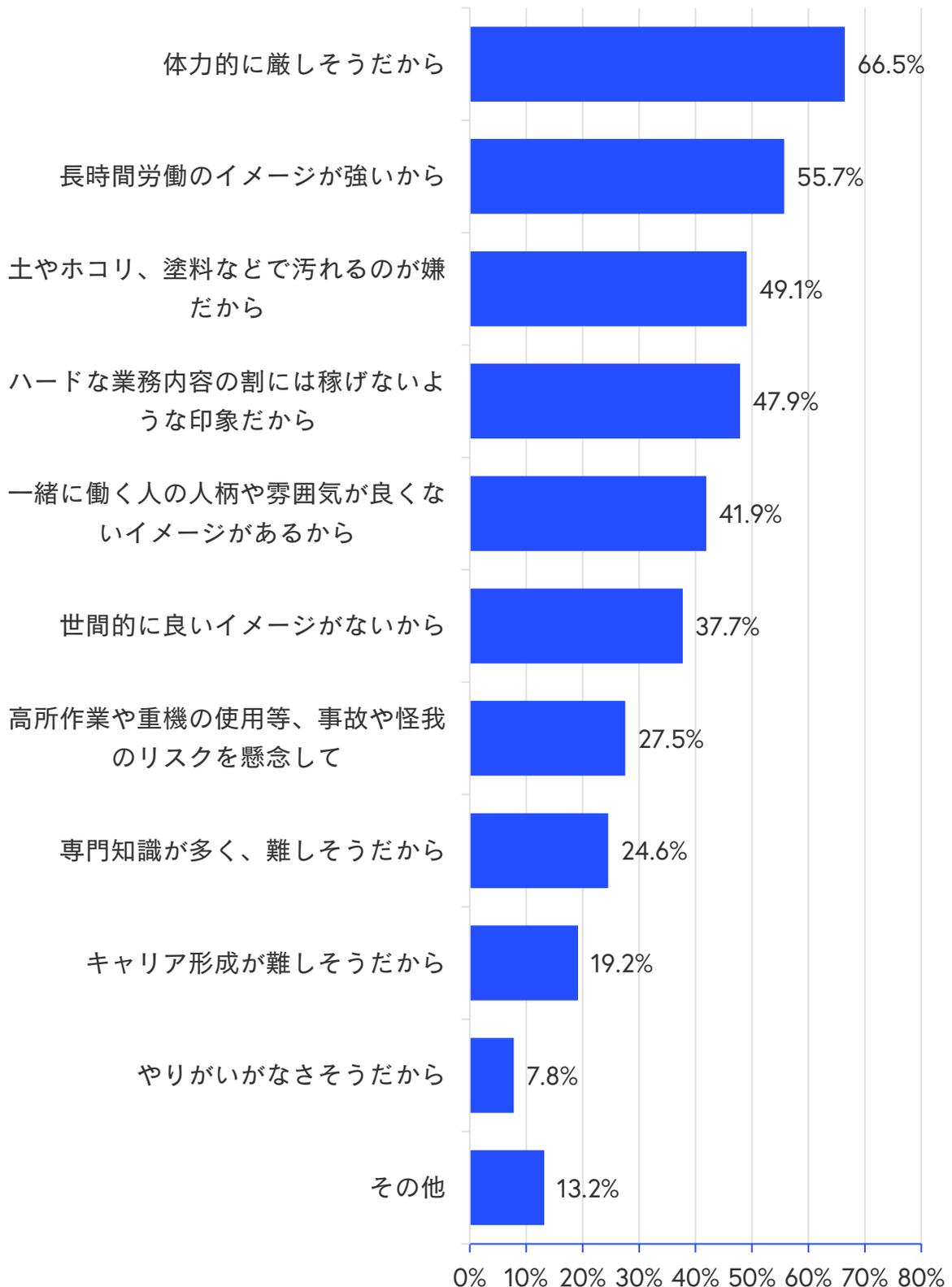
■ 回答者の役職



■ 回答者の業種



Q ● 建設業へ就職を希望する若年層が少ないことには、どんな理由があると思いますか？（複数回答）



■ 自社顧客回答とインターネット調査結果比較

インターネット調査Q4に設定した「現場作業を中心とした建設業が転職・就職の選択肢に入らない理由」と自社顧客調査の「建設業へ就職を希望する若年層が少ないことには、どんな理由があると思いますか？」の回答項目を統一し、調査結果を比較します。

